



2023年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年4月7日

上場会社名 マニー株式会社

上場取引所 東

コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長 (氏名) 齊藤 雅彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役副社長 (氏名) 高橋 一夫

TEL 028-667-1811

四半期報告書提出予定日 2023年4月14日

配当支払開始予定日

2023年5月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第2四半期の連結業績(2022年9月1日～2023年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	12,025	24.6	3,453	12.1	3,512	3.6	2,563	9.9
2022年8月期第2四半期	9,651	16.2	3,079	15.6	3,390	23.7	2,333	15.8

(注) 包括利益 2023年8月期第2四半期 2,394百万円 (19.8%) 2022年8月期第2四半期 2,985百万円 (40.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	26.04	
2022年8月期第2四半期	23.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	50,745	46,179	91.0
2022年8月期	50,113	45,414	90.6

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 46,179百万円 2022年8月期 45,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期		12.00		18.00	30.00
2023年8月期		14.00			
2023年8月期(予想)				19.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,400	14.6	7,100	15.2	7,100	5.9	5,000	5.5	50.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期2Q	106,973,352 株	2022年8月期	106,911,000 株
期末自己株式数	2023年8月期2Q	8,484,468 株	2022年8月期	8,484,468 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年8月期2Q	98,449,957 株	2022年8月期2Q	98,426,538 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入社している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態及びキャッシュ・フローに関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、世界の多くの地域で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（以下、「新型コロナ」という。）による経済活動への規制が大きく緩和され、世界経済全体は正常化に向かっています。一方で、ロシア・ウクライナ情勢による継続的な原材料・エネルギー価格の高騰、インフレリスクに対応した欧米諸国での政策金利の引き上げや急激な為替変動等により、依然として先行き不透明で注視が必要な状況が続いています。

このような環境下、当社グループは、「世界一の品質を世界のすみずみへ」という使命を掲げ、当社グループの製品を世界中に提供し、世界の人々の幸福に貢献することを目指しています。当社グループの更なる成長に向けて、2022年8月期より中期経営計画をスタートし、営業・生産・開発の各機能のグローバル化を進めることでビジネスモデルの変革を行い、企業理念実現のための取り組みを着実に進めています。当連結会計年度においては、中期経営計画の重点製品であるNiTiロータリーファイル「JIZAI」¹の量産体制構築と売上拡大に向けたマーケティング活動を強化し、硝子体鑷子「マニーマイクロ鑷子」²の国内販売促進及び当社とドイツの連結子会社GDFで共同開発を進めた新たな歯科用修復材³の欧州先行販売を進めています。GDFでは新本社工場を建設しており、2023年8月頃に完成を予定しています。国内ではグローバル生産体制の構築を目指してスマートファクトリーの建設に向けた準備を進めています。今後も中期経営計画に基づく成長戦略により、企業価値の向上を目指します。

(脚注)

¹歯の歯髄と呼ばれる神経の治療法の1つである根管治療において、根管内の感染源除去に用いられる柔軟性の高いニッケルチタン製の歯科治療機器

²網膜剥離や糖尿病増殖性網膜症などの眼球疾患に対する治療法の1つである硝子体手術において、眼底の処置をするための眼科治療機器

³歯の欠損した部分を人工物で埋めることにより歯の形態を回復し、審美性を高める治療（歯冠修復治療、審美歯科治療）に使用される樹脂材料

当第2四半期連結累計期間における経営成績

新型コロナの影響を受けた前年同期と比べ、国内、アジア、欧州を中心とした地域で製品需要が拡大し、特にアイレス針関連製品の大幅な需要増加を背景として、売上高は12,025百万円(前年同期比24.6%増)となりました。一方、販売の増加や海外子会社における製造原価の上昇等により売上原価は4,843百万円(同31.4%増)、本社の人員体制の強化等の影響により販売費及び一般管理費は3,728百万円(同29.3%増)となりましたが、売上高の増加が上記費用増加を上回ったため、営業利益は3,453百万円(同12.1%増)となりました。経常利益は、主に受取利息を計上したこと等により3,512百万円(同3.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加等により2,563百万円(同9.9%増)となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりです。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

	売上高		セグメント利益（営業利益）	
	百万円	前年同期比(%)	百万円	前年同期比(%)
サージカル関連製品	3,182	14.5%	917	△5.8%
アイレス針関連製品	4,154	45.4%	1,281	63.8%
デンタル関連製品	4,688	16.8%	1,255	△5.2%
連結	12,025	24.6%	3,453	12.1%

(サージカル関連製品)

サージカル関連製品の売上高は3,182百万円(前年同期比14.5%増)、セグメント利益は917百万円(同5.8%減)となりました。白内障手術で使用される眼科ナイフの需要がアジア等の地域で拡大したことにより、前年同期から増収となった一方、製造関連の費用が増加し、売上原価が前年同期より悪化したこと等により、セグメント利益は減益となりました。

(アイレス針関連製品)

アイレス針関連製品の売上高は4,154百万円（前年同期比45.4%増）、セグメント利益は1,281百万円（同63.8%増）となりました。製品需要の拡大を背景として、アイレス針の受注が中国を中心としたアジア、北米並びに欧州などの地域で引き続き増加したことにより、大幅な増収増益となりました。

(デンタル関連製品)

デンタル関連製品の売上高は4,688百万円（前年同期比16.8%増）、セグメント利益は1,255百万円（同5.2%減）となりました。中国やインドを中心としたアジア地域において歯科用根管治療機器（リーマ・ファイル類）及び歯科用回転切削機器（ダイヤモンド）の販売が堅調に推移したこと等に加え、円安による収益の押し上げにより、売上高は前年同期から増収となった一方、販売費及び一般管理費が前年同期より増加したため、セグメント利益は減益となりました。

(2) 財政状態及びキャッシュ・フローに関する説明

①財政状態の状況

(単位：百万円)

	前連結会計期間末 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2023年2月28日)	増減額
総資産	50,113	50,745	631
流動資産	32,503	32,190	△313
固定資産	17,610	18,554	944
負債	4,698	4,566	△132
純資産	45,414	46,179	764

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ631百万円増加し、50,745百万円となりました。これは、流動資産313百万円の減少（主に棚卸資産が568百万円、その他流動資産が578百万円減少した一方、現金及び預金が624百万円増加）と、固定資産944百万円の増加（主にドイツの連結子会社GDFの設備投資等に伴い、建設仮勘定が1,579百万円増加）によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ132百万円減少し、4,566百万円となりました。これは主に、未払法人税等の支払に伴い、流動負債が156百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ764百万円増加し、46,179百万円となりました。これは主に、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間	当第2四半期連結会計期間	前年同期比 (%)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,008	3,838	27.6%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,011	△2,643	31.5%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,219	△1,826	49.8%
現金及び現金同等物に係る換算差額	370	△94	—
現金及び現金同等物の期首残高	18,057	22,084	22.3%
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,205	21,358	17.3%

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,838百万円（前年同期比27.6%増）のキャッシュ・イン・フローとなりました。これは主に、法人税等の支払により営業キャッシュ・アウト・フローが増加した一方、税金等調整前四半期純利益の計上により営業キャッシュ・イン・フローが増加したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,643百万円（前年同期比 31.5%増）のキャッシュ・アウト・フローとなりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出や定期預金の預入による支出が増加したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,826百万円（前年同期比 49.8%増）のキャッシュ・アウト・フローとなりました。これは主に、配当金の支払額が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」ととおりです。通期の連結業績予想につきましては、2022年10月11日の「2022年8月期 決算短信」で公表いたしました数値に現時点で変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,729	23,353
受取手形	206	241
売掛金	1,946	2,121
商品及び製品	778	649
仕掛品	3,639	3,206
原材料及び貯蔵品	2,062	2,056
その他	1,152	573
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	32,503	32,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,475	4,299
機械装置及び運搬具(純額)	4,932	4,362
土地	4,353	4,372
その他(純額)	1,725	3,263
有形固定資産合計	15,486	16,297
無形固定資産		
ソフトウェア	84	80
その他	949	973
無形固定資産合計	1,034	1,054
投資その他の資産		
投資有価証券	342	330
繰延税金資産	547	562
保険積立金	175	176
その他	23	136
貸倒引当金	—	△2
投資その他の資産合計	1,089	1,203
固定資産合計	17,610	18,554
資産合計	50,113	50,745

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	111	155
未払金	934	916
リース債務	87	62
未払法人税等	1,148	1,049
賞与引当金	639	714
その他	861	728
流動負債合計	3,784	3,627
固定負債		
リース債務	30	18
役員退職慰労引当金	59	—
退職給付に係る負債	589	624
資産除去債務	201	203
その他	34	91
固定負債合計	914	938
負債合計	4,698	4,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	988	1,059
資本剰余金	1,036	1,106
利益剰余金	42,678	43,470
自己株式	△3,125	△3,125
株主資本合計	41,578	42,511
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	14
為替換算調整勘定	3,845	3,678
退職給付に係る調整累計額	△30	△25
その他の包括利益累計額合計	3,836	3,667
純資産合計	45,414	46,179
負債純資産合計	50,113	50,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
売上高	9,651	12,025
売上原価	3,686	4,843
売上総利益	5,964	7,182
販売費及び一般管理費	2,884	3,728
営業利益	3,079	3,453
営業外収益		
受取利息	51	64
投資事業組合運用益	4	1
為替差益	262	—
その他	22	28
営業外収益合計	340	95
営業外費用		
支払利息	0	1
シンジケートローン手数料	1	1
外国付加価値税等	6	—
未稼働用地関連費用	19	20
為替差損	—	12
その他	1	1
営業外費用合計	29	36
経常利益	3,390	3,512
特別利益		
保険解約返戻金	5	—
固定資産売却益	1	4
受取賠償金	—	60
特別利益合計	6	64
特別損失		
固定資産除却損	3	8
役員退職慰労金	33	—
訴訟関連費用	—	0
特別損失合計	36	9
税金等調整前四半期純利益	3,360	3,568
法人税、住民税及び事業税	961	1,019
法人税等調整額	65	△14
法人税等合計	1,027	1,004
四半期純利益	2,333	2,563
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,333	2,563

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	2,333	2,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	△6
為替換算調整勘定	661	△166
退職給付に係る調整額	6	5
その他の包括利益合計	652	△168
四半期包括利益	2,985	2,394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,985	2,394

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,360	3,568
減価償却費	781	950
のれん償却額	49	—
受取賠償金	—	△60
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	78
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△52	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	44
受取利息及び受取配当金	△51	△64
投資事業組合運用損益 (△は益)	△4	△1
支払利息	0	1
為替差損益 (△は益)	△241	59
シンジケートローン手数料	1	1
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△4
固定資産除却損	3	8
保険解約損益 (△は益)	△5	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△278	△204
棚卸資産の増減額 (△は増加)	447	515
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	6	9
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16	42
未払金の増減額 (△は減少)	△42	△19
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	85	△132
その他	△35	38
小計	4,013	4,832
利息及び配当金の受取額	59	63
利息の支払額	△0	△1
賠償金の受取額	—	60
法人税等の支払額	△1,063	△1,115
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,008	3,838
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△729	△1,393
有価証券の売却及び償還による収入	—	600
有形固定資産の取得による支出	△1,264	△1,814
有形固定資産の売却による収入	4	7
無形固定資産の取得による支出	△78	△47
投資有価証券の売却及び償還による収入	24	—
投資事業組合分配金による収入	7	5
保険積立金の積立による支出	△1	△1
保険積立金の解約による収入	25	—
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,011	△2,643
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△35	△53
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,181	△1,771
シンジケートローン手数料の支払額	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,219	△1,826
現金及び現金同等物に係る換算差額	370	△94
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	148	△725
現金及び現金同等物の期首残高	18,057	22,084
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,205	21,358

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	2,780	2,857	4,013	9,651	-	9,651
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	2	-	2	△2	-
計	2,780	2,859	4,013	9,653	△2	9,651
セグメント利益	973	782	1,324	3,079	-	3,079

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	3,182	4,154	4,688	12,025	-	12,025
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1	-	1	△1	-
計	3,182	4,155	4,688	12,026	△1	12,025
セグメント利益	917	1,281	1,255	3,453	-	3,453

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。